

「自らの環境負荷削減」と「お客さまや社会の環境課題解決」に取り組む



株式会社 山武
取締役執行役員常務
(環境管理担当役員)

河内淳

環境マネジメントシステムの統合

山武は工場での開発・生産から、販売、施工、サービス、メンテナンスまで幅広い分野で事業活動を展開しております。2004年2月に、本社・2カンパニー・3工場の6サイトで個々に運用していた環境マネジメントシステムを全社一本に統合し、幅広い事業分野における環境保全活動を一元化して管理・推進する体制で運用しております。

そして、新たに策定した山武環境方針において、「環境の山武」を目指す2つの課題として「山武自らの環境負荷低減」および「お客さまや社会の環境課題解決」を明らかにいたしました。

山武自らの環境負荷低減

廃棄物削減の取り組みに関しては、湘南工場に次いで2004年度に新たに藤沢工場においてゼロエミッションを達成いたしました。また、欧州RoHS指令に関しては、製品含有化学物質の管理体制確立に向けて、全社プロジェクト体制で取り組み、製品含有化学物質の管理の仕組み構築を2005年3月に完了し、同時に化学物質管理システム「eCOMAST」を稼働させ、全社における利用を開始しました。今後ともシステムの拡充と特定化学物質の代替化・排除を積極的に推進してまいります。

さらに、CO₂排出量削減に向けた新エネルギーの導入として、

2004度は伊勢原工場において、太陽光発電設備を導入し、通常時および停電を伴う災害時における、給電設備として利用しております。

お客さまや社会の環境課題解決

山武は計測・制御のメーカーとして従来から、建物・工場における省エネルギー・省資源など環境に貢献するビジネスを進めております。この事業を支援するために、自社工場の省エネ、省資源、廃棄物削減の推進を山武の製品や技術を用いて行い、評価・検証を行う「環境モデル工場」化を進めてまいりました。2004年度は、一例として、高精度の温湿度制御が必要な藤沢工場の計測標準室において、評価・検証を続けてきた空調制御システムを「Infiflex CR」として製品化いたしました。

また、藤沢工場においては、これらの取り組みを省エネ工場見学会として公開しており、2004年度は高校生、大学生から専門の方々まで1,046名の見学者をお迎えしております。

これからも、山武グループのあらゆる業務において、社員一人ひとりが環境を意識した活動を進め、企業活動において環境負荷の削減に努めていく必要があると認識しており、環境保全活動を継続的に推進し「環境の山武」として世の中に貢献してまいります。